

# 報告とお礼

## 7.3「大飯原発3号機再稼働糾弾・抗議」 おおい町緊急行動に60人超

関電は、昨年7月20日から定期点検で運転を停止していた大飯原発3号機を7月3日に再稼働させました。関電は当初、昨年10月の運転再開を画策していましたが、8月の超音波試験で、原子炉圧力容器と蒸気発生器を繋ぐ配管（加圧器スプレライン管）などに損傷が見つかったため、運転停止が長期化していました。加圧器スプレライン管は、高温高圧（320℃、157気圧）の1次冷却水が流れる直径11cmの配管です。破断すれば、一挙に1次冷却水が噴出し、原子炉が空焚きになる深刻な事故に至ります。なお、関電の原発（加圧水型）では、加圧器スプレライン管だけでなく、高温高圧水が流れる蒸気発生器伝熱管の損傷、減肉もたびたび発覚しています。

ところで、昨年12月4日、大阪地裁・森鍵一（もりかぎはじめ）裁判長は、大飯原発の設置許可取消の判決を出しました。「規制委員会の判断は地震規模の想定で必要な検討をせず、看過しがたい過誤、欠落がある」として、大飯原発3、4号機の原発設置許可を取り消したのです。この判決は、規制委員会審査のいい加減さを端的に指摘しています。また、大飯原発のみならず、全ての原発が、過小評価された地震動を基に耐震設計されていることを暗示しています。

- ・配管損傷などのトラブル続きで、耐震性も全く不十分な大飯原発再稼働を、許してはなりません！
- ・原発を動かせば、処分法も保管地もない使用済み核燃料が溜ります。
- ・大飯原発から100kmの圏内には、福井県、京都府、滋賀県の全域、大阪府、兵庫県、奈良県、岐阜県、愛知県の多くの部分が含まれます。大飯原発で重大事故が起これば、何100万人もの人々が長期にわたる避難を強いられます。重大事故では、琵琶湖が汚染され、関西1400万人以上の飲用水が奪われます。

**7月3日、おおい町に結集した60人超が、大飯3号機の再稼働を糾弾し、抗議する緊急行動に起ちました。**

同日13時、おおい町大島「おおい町はまかせ交流センターしーまいる」付近の公園に集合した参加者は、大飯原発ゲート前までデモ行進し、原発ゲート前で15時まで抗議集会および申入れの後、「塩浜海水浴場駐車場」までデモ行進し、断固とした関電への抗議の声を上げ、おおい町の皆さんに原発全廃を訴えました。

**ご参加、ご支援くださいました皆さん、  
ありがとうございました。**

なお、7月2日、6月23日に再稼働した美浜3号機では、事故時に蒸気発生器に給水するポンプ（タービン動補助給水ポンプ）に大きな圧力がかかるトラブルが発生しています。関電は、「ポンプ入り口にある金属製のフィルターに鉄さびが詰まったことが原因」としています。これが事実であれば、配管の中には多量の鉄さびが懸濁していることになり、この懸濁物が、配管の減肉やフィルターの目詰まりの原因になり、今後もトラブルを引き起こしかねないこととなります。何よりも、老朽原発をは全国に先駆けて動かそうとして準備してきたにも拘らず、鉄さびによる目詰まりにも気づかなかつた関電と規制委のいい加減さを糾弾しなければなりません。

**点検も審査もいい加減な関電や規制委に  
原発を安全に動かせるはずがありません。**

老朽原発うごかすな！実行委員会 連絡先・木原（090-1965-7102）



### 「大阪地裁判決を軽視」

市民団体が原発前で抗議活動



大飯原発前でシュプレヒコールを上げる市民ら＝おおい町大島で

関西電力大飯原発3号機（おおい町）の運転再開に合わせ、市民団体「老朽原発うごかすな！実行委員会」は三日、同原発前で抗議活動を行い、関電に

関西電力大飯原発3号機（おおい町）の運転再開に合わせ、市民団体「老朽原発うごかすな！実行委員会」は三日、同原発前で抗議活動を行い、関電に

の旗などを掲げてデモ行進し、同原発前では「大飯3号機を動かすな」などとシュプレヒコールを上げた。申し入れ書は、蒸気発生器周辺の配管に傷が見つかったことや設置許可取り消し判決、使用済み核燃料の問題などを理由に、全原発の即時停止と廃炉を求める内容。原発ゲート前で関電担当者に手渡した。

委員会の木原壮林代表（モモ）＝京都市＝は「配管の損傷は、他の箇所でもありうる」と指摘し、大阪地裁が設置許可取り消し判決を出した裁判の原告でもある石地優さん（いし）＝若狭町＝は「運転再開は地裁判決を軽視している」と憤った。

（高野正憲）



### 関西電力の原発状況

美浜原発	
1号機	廃炉作業中
2号機	廃炉作業中
3号機	稼働中(40年超運転)
大飯原発	
1号機	廃炉作業中
2号機	廃炉作業中
3号機	稼働中
4号機	稼働中
高浜原発	
1号機	テロ対策施設工事中(40年超運転認可)
2号機	テロ対策施設・安全対策工事中(40年超運転認可)
3号機	稼働中
4号機	稼働中

## 関電・大飯3号機 運転再開

# 県内5基同時稼働 国の原発政策は不透明

### 国の原発政策は不透明

関西電力大飯原発3号機(おおい町)が三日に運転再開。県内で原発五基が同時に稼働するのは二〇一一年以来十年ぶりとなる。福島第一原発事故後、県内の原発はほとんど稼働ゼロとなったが、徐々に再稼働しつつある。一方、国の次期エネルギー基本計画(エネ基本)では、原発のリプレース(建て替え)推進などの明記を先送りする動きが出ている。大飯原発をめぐっては設置許可を取り消す大阪地裁判決もあり、原発政策の不透明さが漂う。

「(原発を)将来にわたって持続的に活用していく」。県内の原発三基の四十年超運転が議論されている。四月下旬、梶山弘志経済産業相は、杉本達治知事の会談でこう明言した。現行のエネ基本で原子力の位置付けは「依存度を可能な限り低減」。菅義偉首相が温室効果ガス排出量の三〇年度削減目標を「一三年度比46%減」に上方修正したこともあり、国は原子力の利用拡大へ大きくかじを

「(原発を)将来にわたって持続的に活用していく」。その後、国の姿勢は変化し始める。政府が六月に策定した今後の成長戦略で、原発を「引き続き最大限活用していく」という文言を削除。同月下旬には次期エネ基本にリプレース推進などの明記を先送りする方向で調整していることが明らかになった。東京電力福島第一原発事故をはじめ、原発に対する世間の風当たりが強いとみられる。四

この訴訟で原告団に加わった若狭町の石地優さん(六八)は、「判決は確定していても裁判所の一つの考え方が示された。関電は住民の安全について十分な説明をしないまま問題の原発を動かしており、事故が心配だ」と指摘した。

美浜原発3号機の計器数値異常なし

関西電力美浜原発3号機(美浜町)で蒸気発生器に給水する補助ポンプ周辺の水圧計に数値の異常が見つかったことについて、関電は三日、計器に異常がないことを確認したと発表した。補助ポンプと配管の間にあるフィルターが、付着物で目詰まりしたことが原因という。配管内面の鉄が酸化して分離したものが付着したとみられる。

3号機は調整運転中。二日からポンプの試験を一時中断し、付着物を取り除いた。三日に予定していたフル稼働は四日以降にずれ込むが、営業運転への移行予定は、二十七日のままで変更はない。(浅井貴司)

この訴訟で原告団に加わった若狭町の石地優さん(六八)は、「判決は確定していても裁判所の一つの考え方が示された。関電は住民の安全について十分な説明をしないまま問題の原発を動かしており、事故が心配だ」と指摘した。

美浜原発3号機の計器数値異常なし

関西電力美浜原発3号機(美浜町)で蒸気発生器に給水する補助ポンプ周辺の水圧計に数値の異常が見つかったことについて、関電は三日、計器に異常がないことを確認したと発表した。補助ポンプと配管の間にあるフィルターが、付着物で目詰まりしたことが原因という。配管内面の鉄が酸化して分離したものが付着したとみられる。

3号機は調整運転中。二日からポンプの試験を一時中断し、付着物を取り除いた。三日に予定していたフル稼働は四日以降にずれ込むが、営業運転への移行予定は、二十七日のままで変更はない。(浅井貴司)

2021年7月4日中日新聞朝刊

## 県内原発5基稼働 大飯3号機が起動

### 大飯3号機が起動

関西電力は3日午後9時、定期検査中に配管に傷が見つかり運転再開が遅れていた大飯原発3号機(加圧水型軽水炉、出力118万kw)の原子炉を起動した。県内の原発は2011年7月以来約9年11カ月ぶり

に、5基が同時に稼働する状況となった。5基体制は美浜3号機が停止する10月まで続く見込み。

大飯3号機は、定検中に1次冷却系配管の溶接部分で傷が見つかり、運転再開は当初計画から約9カ月遅れた。順調に進めば5日に発送電を開始し、30日に営業運転を開始する予定。

関電の県内原発は、設置が義務付けられているテロ

対策施設の完成遅れやトラブルなどで昨年11月、稼働ゼロとなった。大飯4号機が今年1月、高浜3、4号機が3、4月に運転を再開。6月23日には運転開始から40年を超える美浜3号機が再稼働した。

原発は起動後、通常13カ月運転できる。美浜3号機はテロ対策施設が設置期限の10月25日までに完成しないため、関電は同23日に停止する方針。

大飯3、4号機を巡っては大阪地裁が昨年12月、地震想定に関する原子力規制委員会の審査に不備がある

として新規制基準下での設置許可を取り消す判決を出した。国側が控訴し、大阪高裁で係争中。(野田勉)

美浜3号、差圧計不具合

関西電力は3日、調整運転中の美浜原発3号機(加圧水型軽水炉、出力82.6万kw)のタービン補助給水ポンプ入り口にある差圧計の不具合について、差圧計に不具合があるため、差圧計を交換する方針で、差圧計の不具合が原因と推定し、フィルターや配管を清掃した。

この影響で、当初3日を

予定していた原子炉熱出力を100%に保つ「定格熱出力一定運転」は4日以降にずれ込んだ。27日に予定する営業運転開始に影響はないとしている。

ポンプは、外部電源喪失などの事故時に蒸気発生器に給水する設備。関電は2日の動作確認試験で、差圧計が高めの数値を示したため試験を一時中断し原因を調べていた。その後の調査で、フィルターに鉄酸化物の微粒子の付着を確認した。ポンプや差圧計に異常はなかったという。(野田勉)

### 再稼働反対訴え 県内外60人デモ

大飯原発周辺 関西電力大飯原発3号機の再稼働に反対するデモ行進が3日、おおい町の同原発周辺などで行われた。参加者は「大飯3号機を動かすな」などと抗議の声を上げた。写真。

脱原発を求める県民らでつくる「老朽原発ごかす

な！実行委員会」が主催した。県内外から約60人(主催者発表)が参加した。参加者は同町大島のはまかせ交流センターに集まり、同原発までの約1.5kmを進行。「大飯原発設置許可を取り消しを受け止めろ」「大阪地裁判決に従え」などと訴えた。同原発のゲート前で関電担当者に対し、手紙を手渡した。

この後、塩浜海水浴場まで行進した。(石川悠樹)

2021年7月4日 福井新聞朝刊